

科目区分	専門分野	授業科目	看護の統合と実践実習
講師	看護教員	実務経験の有無	有
単位数（時間）	2 単位（90 時間）	開講年次	3 年次第 1～第 2 学期
授業概要 ※講師からのメッセージ	本実習は、今迄学んだ知識を活用し看護師として、チームの一員としての自分をイメージしながら、複数の患者への優先順位を考え対応が出来るように学んでいきましょう。		
<p>目的：看護チームの一員として複数の対象を受け持ち、多重課題に取り組む体験を通して、既習の知識・技術・態度を統合し、看護実践力を身につける。</p> <p>目標：1. 担当する複数の対象の健康レベル及び健康上の問題点を把握し優先順位・時間配分について考えることができる</p> <p>2. 看護チームの中で、看護師と共に看護を実践し、複数患者に必要な援助が実施できる</p> <p>3. チーム医療の中で、看護のマネージメントについて学ぶことができる</p> <p>4. 夜間実習を通して患者の療養生活を支える看護の実際について理解できる</p> <p>5. 看護師の責務を自覚し、自己の課題が明確にできる</p>			
授 業 内 容			
<p>1. 複数の対象の健康レベル及び健康上の問題点の把握</p> <p>1) 看護チーム内の患者の把握</p> <p>(1)患者数 (2)重症者・手術患者 (3)入院予定・退院予定 (4)外出者・外拍者</p> <p>2) 担当する患者の把握</p> <p>(1)健康レベル (2)健康上の問題 (3)治療処置内容</p> <p>3) 時間配分・優先順位</p> <p>(1)時間の制限 (2)患者の重症度 (3)チームメンバーの状況などから判断した調整</p> <p>(4)患者満足度を高めるための配慮</p> <p>2. 看護師と共に行動し、多様な看護の方法の実践</p> <p>1) チーム内の患者に対する日常生活援助と診療の補助 2) 入院時の援助 3) 夕方から就寝までの援助</p> <p>4) 担当する複数の患者の日常生活援助 5) 対象の安全・安楽・自立性を考慮した看護</p> <p>6) 対象に適した方法の選択</p> <p>3. チーム医療における看護のマネージメント</p> <p>1) チーム医療における看護師の役割</p> <p>(1)患者の状態についての報告 (2)関係部門との連絡・調整・諸手続き</p> <p>2) チーム医療における協調的行動</p> <p>(1)チームメンバーの連携・協働 (2)チームワーク (3)報告・連絡・相談</p> <p>3) 病棟管理者の役割と管理項目</p> <p>(1)看護師長の役割 (2)副看護師長の役割 (3)チームリーダーの役割</p> <p>(4)病床・物品・薬品・施設・情報・勤務・リスク管理</p> <p>4) 看護ケア提供システム 5) ワークライフバランス 6) 人材育成 7) メンタルヘルス</p> <p>4. 夜間実習を通して患者の療養生活を支える看護の実際</p> <p>1) 夜間の様子や環境</p>			

- (1) 夜間の病棟・病床の環境 (2) 家族との面会時の反応 (3) 患者の就寝前の様子
- (4) 就寝後の状況 夜間の患者の心理
- 2) 夜間の患者に必要な看護
 - (1) 食事介助 (2) イブニングケア (3) 就寝の準備 (4) 睡眠への援助 (5) 巡視 (6) 与薬など
- 3) 夜勤体制での看護の実際
 - (1) 夜間の援助内容と流れ (2) 適切な時間での実施 (3) 優先順位の判断 (4) 業務の調整
 - (5) 夜間の患者の安全確保 (6) 報告 (夜勤師長、チーム内) (7) 申し送り
- 6. 看護師の責務の自覚と自己の課題
 - 1) 対象の権利擁護・安全の確保 2) 実施した看護の責任の認識 3) 自己の責任と能力の的確な認識
 - 4) 個人の責任としての継続学習 5) 能力の維持・開発 6) 専門的知識・技術の創造と開発
 - 7) より質の高い看護を行うための看護者自身の 心身の健康の保持増進 8) 個人としての品行の維持

授業方法	臨地実習
評価方法	以下の内容を実習評価表（100%）に沿って評価を行う 患者理解・看護実践・実習態度・出席状況、実習レポート
備考	関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。 関連科目：医療安全 看護管理 総合看護技術演習Ⅲ